

質 問 回 答

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2024 年 3 月 15 日

「大洋州地域サモア国道路計画・維持管理アドバイザー及びトンガ国道路計画・道路維持管理・車両点検能力向上アドバイザー業務」

(公示日:2024 年 3 月 6 日／調達管理番号:23a00943)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P11 (2)サモア ⑤現地業務のタイミング	サモア国には、本件項目（現地業務のタイミング）が記載されていますが、トンガ国の記載はありません。 トンガ国には特に制限などは無く、コンサルタント判断で提案、対応するということが良いのでしょうか？ もしくは、トンガ国での（現地業務のタイミング）が追加される場合は、ご提供をお願いいただきたい。	トンガ国に関しては現時点では特に制限ございません。
2	P12 (3)トンガ ⑩プロジェクト実施体制	⑩プロジェクト実施体制に記載される交通渋滞改善(成果3)にかかる説明の記載がありませんので、追加情報の提供をお願いします。	トンガ成果3について、特筆すべき実施方針及び留意事項はございません。
3	P12 (3)トンガ	トンガでの業務の実施方針及び留意事項は成果2 までで、成果3交通渋滞改善についての記載がありません。ご教示いただけますでしょうか。	トンガ成果3について、特筆すべき実施方針及び留意事項はございません。
4	P12 (3)トンガ ⑪道路データベースについて (成果1	「一方、現地調査の結果、受注者がシステム開発が必要と判断した場合は、システム開発を行うか否か、また、システム開発は現地再委託で対応可能か否かについて方針を発注者と相談する。」とありますが、システム開発が必要となった場合、再	Excel ベースのデータベースを構築する場合も、再委託をする場合も、いずれも同じ団員（専門家）が担当することを想定しております。 「道路データベースのシステム開発にかかる費用」は再委託費用であり、団員（専門家）の報酬

		<p>委託を行うために必要なシステムの計画、仕様書作成を担当する専門家の追加配置も含めて相談するという理解でよいでしょうか？</p> <p>また、専門家の配置は、p.35)に記載の「道路データベースのシステム開発にかかる費用」には含まれていないという理解でよいでしょうか。</p>	は含みません。
5	<p>P.13 (1)プロジェクトの活動に関する業務 ①サモア イ) 成果1に係る業務 活動 1-3</p>	<p>「補修方法選定、施工監理、安全管理、品質管理についての技術移転を行う。」と記載されています。サモアの場合、道路補修が PBC で実施されているところ、上記技術移転の対象は、PBC コントラクターではなく、LTA 職員に対してよいでしょうか。本活動には技術マニュアルの整備は含まれていないものと考えてよいでしょうか。(マニュアルの整備までを含めるとそれに伴う MM のインプットが別途必要となるため確認をさせてください。)</p>	<p>ご理解の通り、技術移転の対象は LTA 職員です。 技術マニュアルの整備は含みません。</p>
6	<p>P14 ① サモア ロ) 成果2に係る業務 P23 4. 事業の枠組み (8) 主な活動</p>	<p>企画競争説明書 P14 に「活動 2-1: 島内の危険個所の洗い出しを行う」の記載があります。 一方、企画競争説明書 P23 には「活動 2-1: 現場視察を行うために「10 年計画」を参照しながらパイロットサイトを選定する」と記載があります。どちらを正とすればよろしいでしょうか。</p>	企画競争説明書 P14 の記載を正としてください。
7	<p>P15～16 ② トンガ イ) 成果1に係る業務 P26 4. 事業の枠組み (8) 主な活動</p>	<p>企画競争説明書 P15～16 にかけて、トンガの成果 1 に係る業務の活動 1-1～活動 1-5 の記載があります。 一方、企画競争説明書 P26 には活動 1-1～活動 1-6 まであり、どちらを正とすればよろしいでしょうか。</p>	企画競争説明書 P15～16 の記載を正としてください。

8	P15 (1)プロジェクトの活動に関する業務 ②トンガ イ) 成果1に係る業務 活動 1-1	維持管理プロセスのレビュー、助言、および補修に係る技術移転が主な内容と理解しましたが、道路の「点検方法」に係る技術移転は含まれていない、という理解でよろしいでしょうか？	ご理解の通りですが、既存の点検方法にかかる「助言」は本業務に含まれます。
9	P15 上記 3.の質問項目に同じ 活動 1-3	脚注に「データベースについては、現時点では Excel ベースなど簡易的なものを想定している。」とありますが、本案件では、サモアで整備されているような GIS ソフトと連携したデータベースは想定していないということによいでしょうか？（GIS との連携の場合システム開発として別途協議を行うということによいでしょうか？）	ご理解の通りです。
10	P16 ② トンガ イ) 成果1に係る業務 活動1-5:道路データベースを用いた道路補修計画の策定支援	活動 1-5 で、「データベースに投入するデータは現在収集済のデータとし、新規のデータ収集は行わないことを前提する」と記載があります。 しかしながら、P15 の活動 1-3 の道路データベースの構築で、収集済のデータの質や量が、効率的に道路維持管理が行えないと判断された場合、新規にデータの収集は必要ですか。	実施機関へのヒアリングにて道路の点検データは個別に管理していることを確認しており、新たなデータの収集は必ずしも必要ではないと理解しています。一方、活動を進めるにあたりデータが不足していると判断する場合は、新規でデータ収集を行ってください。
11	P16 ロ)成果 2 活動 2-3	「新型車、ハイブリッド車、電気自動車等の車検に・・・」とあります。この部分の「新型車」とは、どのような自動車・車両のことでしょうか？具体的にご教示いただけますでしょうか。	ADAS(Advanced Driver-Assistance Systems, 先進運転支援システム)を搭載する車両とご理解ください。但し、メーカーによって技術仕様は多種多用ですので、調査の結果必要と判断されるメーカーの機能、仕様について車検時の留意点などについてアドバイスを行ってください。

12	P16 ロ)成果に係る業務 活動 2-2 活動 2-3	「より正確に車両状況を把握するため、故障診断機器等を用いた検査の提案を行う」等の記載がありますが、日本国内においても故障診断機器等を用いた検査（OBD 検査）は令和 6 年(2024 年)10 月からの本格実施であり、対象車も国産車は令和 3 年(2021 年)10 月 1 日以降の新型車、輸入車は令和 4 年(2022 年)10 月 1 日以降の新型車であるため、トンガ国の車両状況に整合した故障診断機器が日本国内で調達可能となるか不明である。機材調達で価格想定がされているため、故障診断機器情報を開示いただきたい。	最終的に導入する機器の仕様はトンガで流通している車両のメーカーや年式、仕様を確認した上で決定してください。現時点では日本車が多く使用されているという想定の下、2008 年 10 月以降装着が義務化されている OBD2 搭載車との通信が可能な故障診断機器を想定しています。仕様については、一般的な自診断情報の読み取り、消去の機能に加え、現地で使用されている車両の仕様によっては ADAS のシステム診断、エーミング等の機能の追加も検討してください。また、幅広い車種に対応することに加えて、継続的に使用することも考慮し、車種情報を適宜、更新可能な機種が望ましいと考えます。 なお、以下に参考を示します。参考①は令和 6 年(2024 年)10 月から開始される日本の車検で使用可能な故障診断機の一覧です。日本の車検で使用するには専用サーバーとの通信が必要となるため、一定条件を満たした機器のみ使用可能となりますが、今回、トンガ向けに調達する機材はこの条件を満たす必要はありません。参考②は日本で整備作業に使用されている故障診断機の例を示すものです。上記の通り、最終的な仕様については、最終的に導入する機器の仕様はトンガで流通している車両のメーカーや年式、仕様を確認した上で総合的に判断ください。 <ご参考>
----	-----------------------------------	--	---

			<p>①検査用スキャンツール一覧 検査用スキャンツール型式一覧表.pdf (jasea.org)</p> <p>②検査用スキャンツールの販売状況・予定 001707721.pdf (mlit.go.jp)</p>
13	<p>P 35 第3章 プロポーザル作成に係る留意事項 4. 見積書作成にかかる留意事項 (4)定額計上について 表中</p>	<p>表中の「2 車両検査に必要な機材の購入に係る費用」について、輸送費はこちらの定額に含まれるでしょうか、あるいは含まれていないのでしょうか。</p>	<p>輸送費も含まれます。</p>

以上